

未来につながる選択肢

みんなで
一緒に知りたい
卵子凍結
のこと



発行 福祉局子供・子育て支援部家庭支援課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4362

令和6年3月発行

登録番号(5)146

「卵子凍結」を知っていますか？

いつかは子どもを生み育てたい！
と望んでいるものの、

様々な事情によりすぐには難しい方にとって、「卵子凍結」は将来の妊娠に備える選択肢の一つです。

希望する女性が安全かつ安心して「卵子凍結」を行うには、

本人のみならず周囲の方が、「卵子凍結」を行ってみませんか？

妊娠や出産、そして卵子凍結について

正しい知識を持つことが大切です。

自分に直接的には関係ないとと思う方も、

この機会に「卵子凍結」について

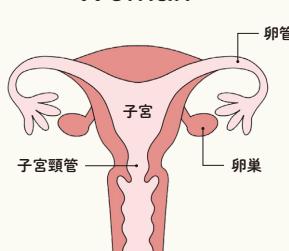
一緒に学んでみませんか？

1 妊娠するってどういうことだろう？



男女のからだのしくみ

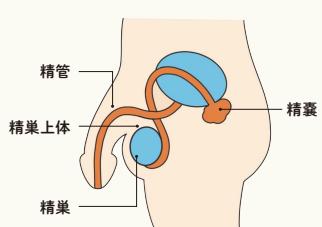
Woman



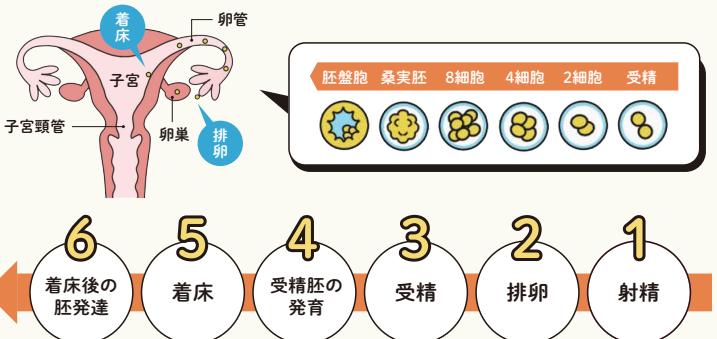
生まれた時点で卵子の数は決まっている！?

妊娠は「卵子」と「精子」が出合うことから始まります。女性の卵子は、子宮をはさんで左右に1つずつある卵巢の卵胞という袋の中になります。複数の卵胞がホルモンの刺激により成熟し始めますが、その中から1つの卵胞だけが成熟し、そこから卵子が飛び出します。これが排卵です。卵子は、女性が生まれる前に作られ終わっていて、出生後、新たに作られることがあります。毎日減り続け、やがて卵子がなくなると月经が起らなくなり、閉経を迎えます。一方、男性の精子は、精巢で毎日つくられています。約80日かけてつくられた精子は細い管を通って精巣上体に運ばれ、射精されるのを待ちます。

Man



妊娠の6つのプロセス



妊娠成立には多くの条件がそろう必要があります

1回の「射精」で放出される精子は1億個以上。女性の体内に出た精子は、子宮頸管から子宮を通って卵管まで泳ぎ、「卵子」で卵巣から卵管へ取り込まれた卵子と出会います。排卵された卵子の寿命は約24時間。一方、精子の女性体内での寿命は72時間。しかも、1個の精子しか卵子と合体できません。奇跡的に「受精」した卵(受精卵)は、2つ、4つ…と細胞分裂をくり返しながら「発育」。卵管から子宮へと進み、子宮内膜に根を下ろし「着床」します。そして、「着床後の胚発育」が順調に進むと、約10日に妊娠反応が出るのです。

避妊しなければ、
すぐに妊娠
できるでしょ？

毎日性行為をすると
精子の数が
減ってしまうのでは？

精子と同じで卵子も
毎日つくられて
いるのよね？

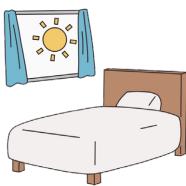
子どもができないのは
女性側だけの
問題ですよね？

卵子凍結をすれば
いつでも妊娠
できるのかな？

妊娠・出産は
相手が見つかってから
考えればいいよね…



妊娠に必要なことってなんだろう？

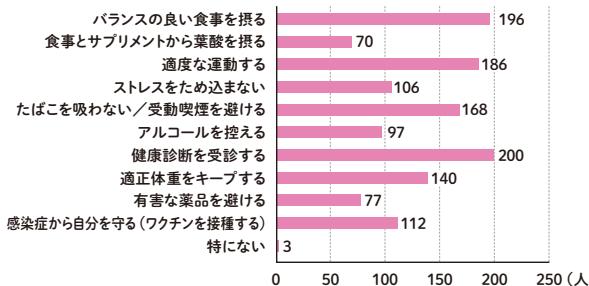


妊娠には健康な体づくりが大切!

日常生活を見直しませんか？

妊娠や出産はゴールではなく、新しい命を育てるスタートです。
育児期間を健康に過ごすためにも、規則正しい生活は大切です!

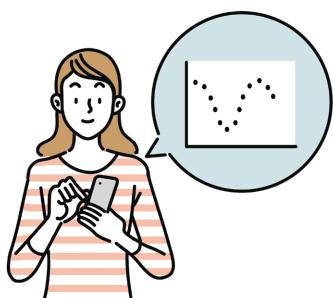
健康のために心がけ、実践している事はありますか？



*参考：東京都福祉局「卵子凍結に関するアンケート調査」

すこやかな体は
毎日の食事・運動・睡眠から
妊娠に向けた体づくりの基本は、
毎日の規則正しい生活です。妊娠し
た場合の体調を整えるためにも、こ
れから生まれてくる赤ちゃんのため

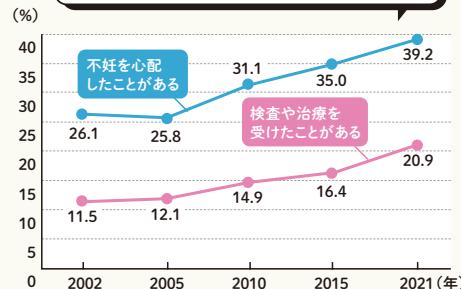
人の先天異常の予防のためにも、妊娠前から葉酸のサプリメントを取り入れましょう。妊娠中は女性の体に大きな負担がかかります。「適度な運動」で筋肉をつけ、血流をよくしておく」とも忘れない。生活リズムをつくる上で、夜は早めに布団に入り、朝は毎日同じ時間に起床する」とことで「良質な睡眠」をとりましょう。



自分の体内リズムを把握しておこう！

不妊の心配・治療経験の割合

2.5組に1組は不妊について心配してゐる



出典：第16回出生動向基本調査(2021)を
加工して作成(国立社会保障・人口問題研究所)

精子と卵子が出会いタイミングがずれたりすると、妊娠には至りません。生殖年齢の男女が妊娠を希望し、ある一定期間（一般的には1年）避妊することなく通常の性交を継続的に行っているにもかかわらず妊娠の成立を見ない場合を「不妊（症）」といいます。令和3年に実施された調査では日本で不妊を心配した経験のあるカップルは、3組に1組以上4・4組に1組が、不妊の検査ですが、加齢による卵子の質の低下による影響は大きいといわれています。気になる方は、医師に相談してみましょう。

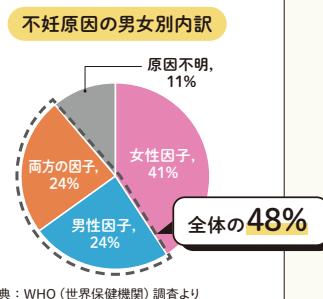
不妊の原因は女性にも男性にもあります！

女性が妊娠しにくい原因

- 卵子の老化
 - 子宮に疾患がある
 - 排卵しにくい
 - 精子と出会いづらい、
 - 卵管がふさがっている
 - 出会いを妨げられる

男性が妊娠しにくい原因

- 精子がつくれない、またはたくさんつくれない
 - 精子の通り道がふさがっている
 - 性交渉ができない



WHO（世界保健機関）の調査によると、不妊の原因是「女性のみ」が41%、「男性のみ」が24%、「男女両方」が24%となっており、48%（約半数）が男性にも原因があるとされています。

年齢とともに変化するからだ

加齢等と生殖機能の低下について

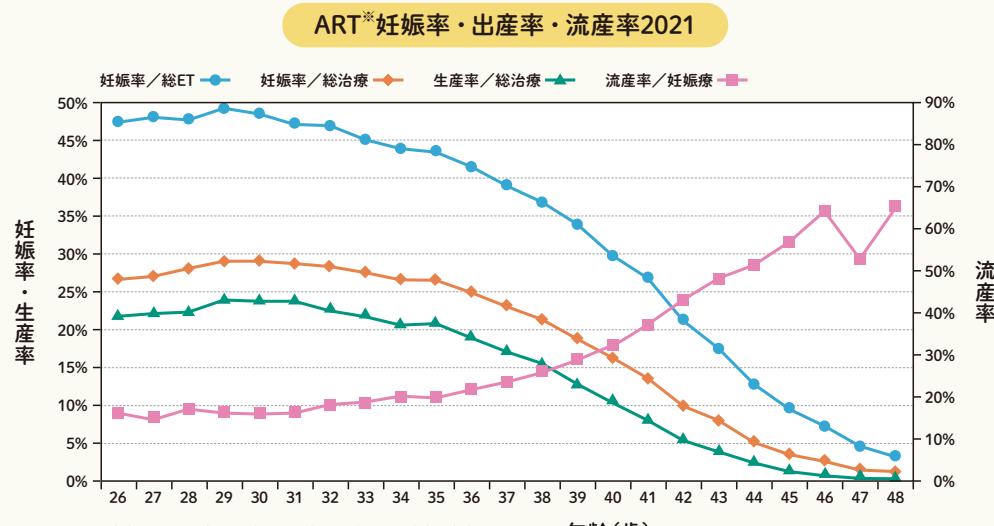


男性の生殖機能の低下

男性の生殖機能は精子の数や運動率、形態などに左右されます。「射精ができるば妊娠は可能」と思われる方も多いですが、必ずしもそうとは限りません。受精に必要な精子の数が少ないとや精子がないこと、精子が動けないこと、精子の頭部の形が正常でないことなどが原因で男性側に不妊の原因があるケースもあります。女性と同年代の男性と、女性よりも5歳以上年上の男性の妊娠率を比較すると、同年代の男性のほうが妊娠率が高いという報告もあります。

女性の生殖機能の低下

女性は30代半ばから、染色体に異常のある卵子が排卵されることが多くなります。卵母細胞は出生前から排卵するまでの間、細胞分裂が停止した状態になります。その間に卵母細胞の細胞質が老化するため、卵子に染色体異常が起こりやすくなると考えられています。染色体異常がある卵子は、受精しても卵割が途中で止まり、着床しなかったり、流産になったり、ダウン症候群・パトウ症候群・エドワーズ症候群などの発症につながる可能性が考えられます。



出展：日本産科婦人科学会 2021年体外受精・胚移植等の臨床実施成績
(https://www.jsog.or.jp/activity/art/2021_ISOG-ART.pdf)より、
「ART 妊娠率・生産率・流産率 2021」グラフ

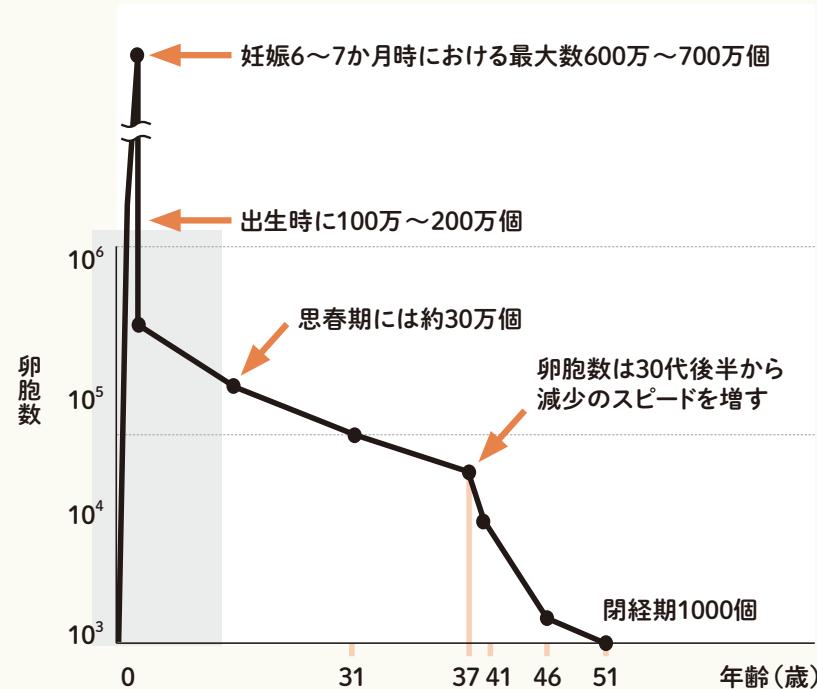
加齢等に伴う女性の出産のリスクについて

加齢等により卵子の質が低下すると妊娠する力(妊娠性)が低下すると考えられています。妊娠性は30歳頃から低下し、35歳頃から大きく低下

します。加齢で婦人科系の疾患に罹りやすくなることや、赤ちゃんの死亡率の上昇に関連する点にも注意が必要といえるでしょう。

加齢と卵子(数の減少)

女性の卵子は、生まれる前に作られ終わっており、卵子は未熟な状態で眠っています。



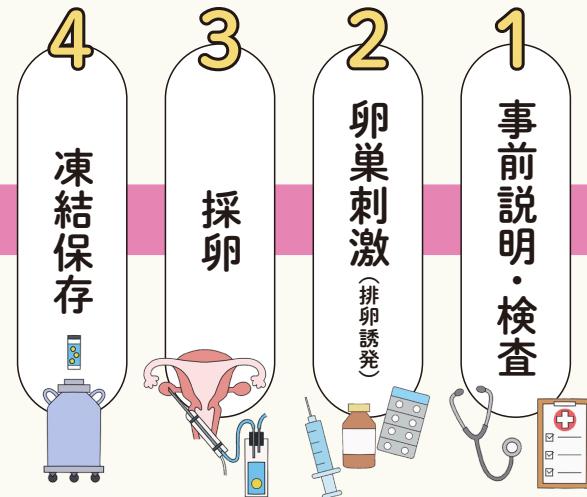
卵子のいろいろ

胎児期の女性の体内には、成長して卵子になる細胞である原始卵胞が最大で約700万个あるといわれています。赤ちゃんとして生まれる時にはこの原始卵胞が100万～200万个に減少し、10代で思春期になると30万个～40万个になります。毎月約1,000個の原始卵胞が成長はじめ、最終的に1個の卵子が排卵されることによって妊娠が可能な状態となります。このようにして毎月卵子の数は減少し、体内に残っている卵子の数が1,000個になります。50歳前後で閉経を迎えることが多いのは、このような流れで卵子数の減少が起るこれが理由とされています。

卵子凍結という選択

卵子凍結の流れ

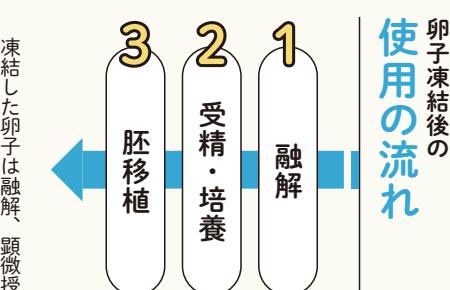
まずは事前説明や検査から始まります。行われる検査は血液検査・超音波検査等です。ホルモン値・卵巣機能・AMH値(Anti-Müllerian Hormone: 卵子の数を示す値)などを調べ、問題がなければ排卵誘発剤を使い卵胞を発育させます。育つ卵胞の数は基本的に複数ですが、体質により1個となる場合も考えられます。卵胞が十分発育したら採卵を行い、得られた卵子を凍結します。排卵誘発剤は内服薬や自己注射による投与が一般的です。採卵は腹から卵巣に細い針を刺して卵子を吸引します。採取された卵子はマイナス196°Cの液体窒素内で保管して完了となります。



抗ミュラー管ホルモン (Anti-Müllerian Hormone) の略称で、卵巣内の発育過程の卵胞から分泌されるホルモンです。AMH検査では、血液中のAMHの濃度を測ることができます。AMH値から発育過程の卵胞の数(量)、つまり、卵子がどの程度残っているかを推測する指標として用います。AMHは月経周期には依存しないため、採血によりいつでも測定可能です。

AMH値とは…

卵巣刺激 (卵子誘発)とは…



排卵誘発剤の内服薬または注射を使用し、排卵を誘発する治療法のことです。妊娠の確率を少しでも上げるために、複数の卵胞を発育させ、成熟する卵子の数を増やし採卵するために行います。

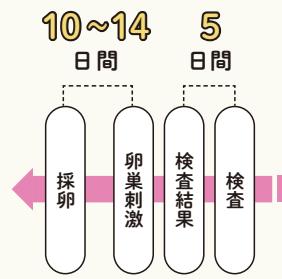
卵子凍結後の使用の流れ

凍結した卵子は融解、顕微授精、培養、胚移植の流れで使用します。まずは専用の融解液を用いて凍結卵子を融解し、顕微授精を行い卵子を受精させます。受精卵を培養して子宮内に移植し、無事着床すると妊娠成立となります。

期間・通院回数

卵子凍結にかかる

卵子凍結にかかる期間は個人の状態や体質にもよりますが、一般的には2週間～3週間ほどと想定しておくとよいでしょう。検査結果が揃うまでに約5日間かかり、排卵誘発剤の投与を開始してから卵子凍結が完了するまで10日～14日ほどかかります。通院回数は合計で4回～5回ほどです。日安としては、初診や事前の検査のため1回、卵巣刺激から排卵までの2回～3回、採卵に1回、それぞれ来院が必要となります。医療機関によっては採卵日に半日から1日程度休める状態にすることを勧めている場合もあるでしょう。所要時間も確認しておくことをおすすめします。



保管

凍結卵子の

医療機関によって異なります。が、凍結する卵子の数は10個以上、保存期間は最大で45歳や50歳までとしているところが多いでしょう。凍結卵子を使用しなかつた場合は廃棄の手続きが必要になります。また、卵子凍結は自由診療であることから、費用は医療機関によって異なります。採卵から凍結保存までに約30万円～50万円。凍結卵子の使用時は融解から胚移植のために約30万円～60万円が必要であることが多いです。凍結保存の期間を延長する場合は1年あたりおおよそ5万円程度と想定しておくと良いでしょう。詳細な費用は実際に医療機関で確認することをおすすめします。

※参考：東京都福祉局子供・子育て支援状況調査結果

未受精卵子凍結の成績

赤ちゃん誕生までに至れる確率は4.5～12%と報告されています



出展：日本産科婦人科学会ノンメディカルな卵子凍結をお考えの方へ (https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=302) より、4. 卵子凍結のメリット「未受精卵子凍結の成績」

凍結卵子の利用状況と使用率について

凍結卵子の使用に関するデータが集まり始めている海外の状況を紹介します。卵子凍結を行う女性の80%以上が35歳以上の人であり、平均年齢は36歳～38歳です。卵子凍結をした人のうち、妊娠した人の割合は20%で、凍結卵子を使用した人は5.2%～7%といわれています。つまり妊娠した人のうち半数以上は、凍結卵子を使わずに、妊娠を計画した時の自身の卵子によって妊娠していることになります。選択肢の一つである卵子凍結の検討を機会に、ライフプランについて見つめ直すことが大切です。

卵子凍結のメリット・デメリット

～卵子凍結を知ったきっかけは？～



1位

知人・友人

44%

2位

新聞

(Webニュースを含む)

18%

3位

SNS

15%

※参考：東京都福祉局「卵子凍結に関するアンケート調査」

卵子凍結を実施した女性へアンケート
卵子を凍結した人ってこんな人

～卵子凍結に興味を持ったきっかけは？～



1位

知人・友人

47%

2位

SNS

15%

3位

新聞

(Webニュースを含む)

14%

知人・友人をきっかけに卵子凍結を知り、興味関心を持った方が約半数を占めていました。次いで新聞（Webニュース）・SNS・テレビなどのメディアを通して知ったという回答が多数挙げられました。これは、身近な人や著名人など実際に卵子凍結を行った人の体験談を見聞きする機会が増えたことによるものと思われます。

その他にも、会社内の説明会等から卵子凍結を知ったという意見も見受けられました。

ライフプランを考えるうえで、身近な選択肢の一つとして卵子凍結への関心が高まってきているようです。

友人、知人をきっかけに知った人が約半数！



～～～～～ メリット ～～～～～

- 妊娠の可能性を将来に残すことができる
- スキルアップやキャリアアップ等のライフプランの選択肢が広がる

卵子凍結により卵子の時間を止めることができます。現在はパートナーがない人や、今は仕事や趣味を充実させたい人にとって、妊娠の可能性を将来に残しておくことができる点がメリットといえます。具体的には30代前半でパートナーを得る人の場合、数年後に妊娠することを想定すると、凍結卵子のほうが妊娠・出産に至る確率が高くなる可能性があります。将来、妊娠する確率を上げるために選択肢の一つと考えることができます。

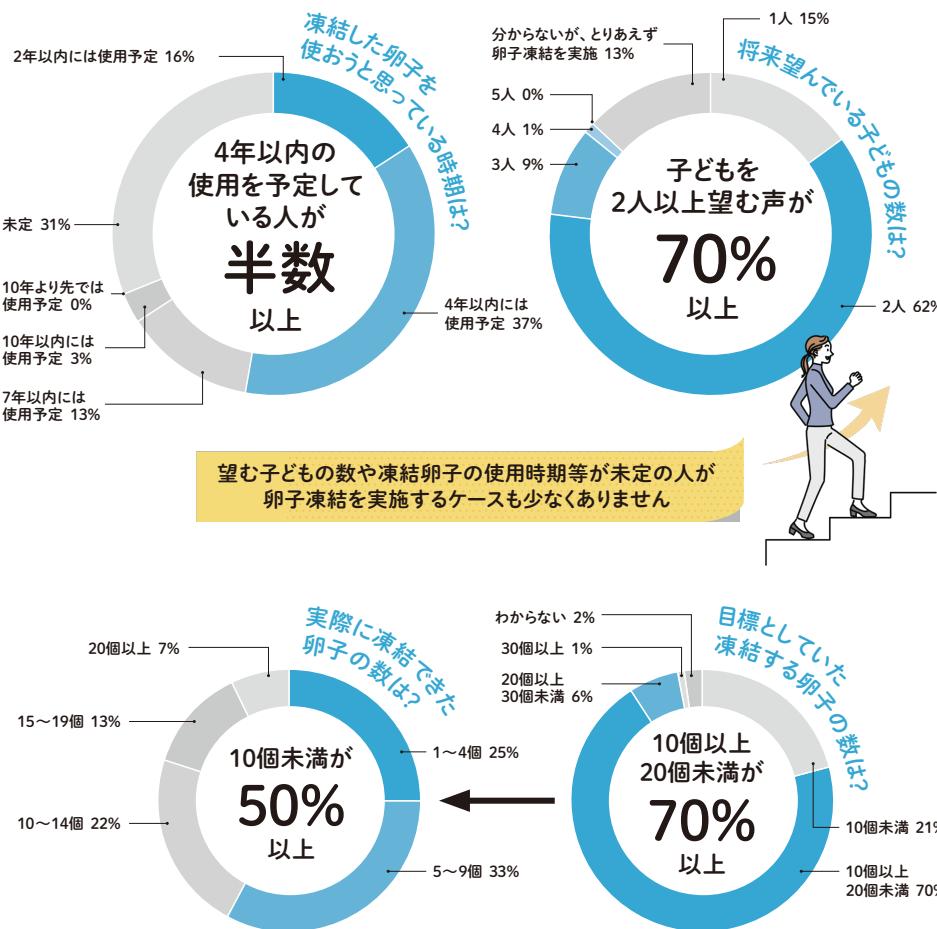
～～～～～ デメリット ～～～～～

- 副作用や合併症等のリスクがある
- 妊娠を保証するものではない
- 費用に対して効果が見合わない場合がある

卵子凍結のデメリットとしては、卵子をうまく採卵できない可能性があることや、入院や手術が必要になるなど副作用や合併症のリスクがあることなどが挙げられます。また、将来の妊娠・出産が保証されるものではない点も注意が必要です。高年齢の方は、体内の卵子を使うことと比較すれば若い時に凍結しておいた卵子のほうが妊娠率が高いことが期待できますが、高年齢での妊娠・出産となると母体のリスクが上昇します。また、確率は高くないですが、排卵誘発剤によって腎不全や血栓症などにつながる卵巣過剰刺激症候群（OHSS）等の重篤な合併症が起こる可能性もあります。さらに出産後、育児が落ち着くころには親が高齢になっていることに伴う長期的なリスクも認識しておいたほうがよいでしょう。費用面では、卵子凍結は自由診療であるため経済的負担が大きくなる傾向があります。

メリットとデメリットを正しく理解することが大切！

卵子凍結をするのは どんな人だろう?

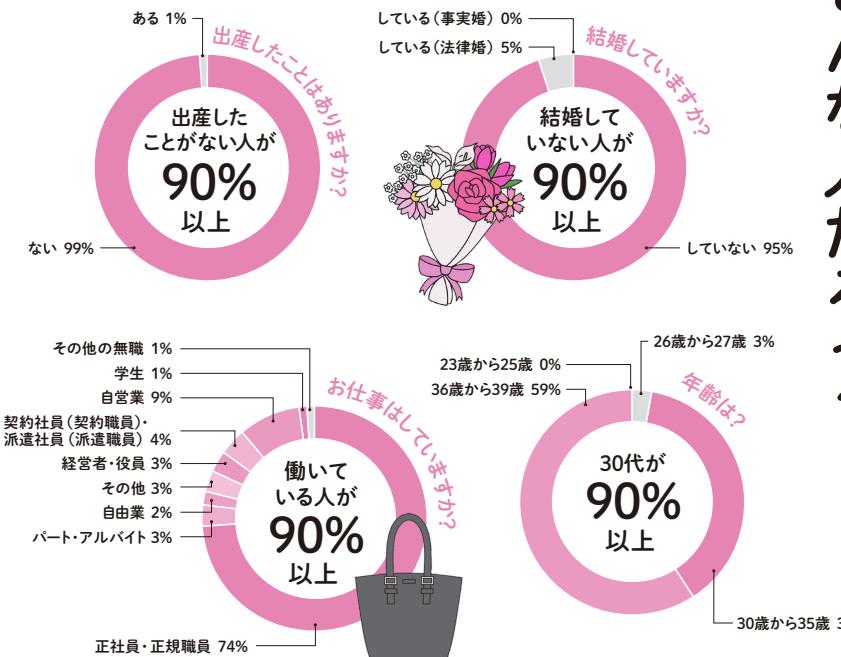


採卵数に関する結果の分析

一人の子を産むには、一般的に10~15個の卵子が必要といわれています。目標数で最も多かったのは10個以上20個未満で、次に10個未満、20個以上30個未満と続きました。一方、実際に

凍結できた数は5~9個、1~4個、10~14個の順になりました。自分が目標とする凍結卵子の数と、実際の凍結数はなかなか一致にくいことがわかります。

必ずしも凍結できる卵子の数が目標数に達するとは限らないので注意が必要です!



卵子凍結を決めた理由は?

- 1位：東京都の助成制度を受けられる
- 2位：現時点で「子どもを欲しい」と思えるパートナーがない
- 3位：将来に対する漠然とした不安を解消したい
- 4位：すでに実施している友人や知人がおり、影響を受けた
- 5位：仕事で今は妊娠に向けて活動できない

卵子凍結の実施にあたって不安だったことは?

- 1位：金銭面での負担
- 2位：身体への負担
- 3位：医療行為に必要な時間が取れるのか（スケジュール調整ができるか）
- 4位：結果として凍結卵子を使用せず、かかった費用が無駄になる可能性がどのくらいあるか
- 5位：どのような医療行為を行うのか

卵子凍結の実施を決めた理由としては、“東京都の助成制度が受けられる”、という回答が最も多く寄せられました。次いで、今すぐには妊娠・出産が難しくても、将来を見据えて子どもを持つという選択肢を残しておくために卵子凍結を決断した、という回答も多く挙がりました。

また、実施にあたり不安だったこととしては、“金銭面での負担”との回答が多く、以下、身体面・スケジュール面への負担や医療行為に対する不安が挙げられました。いずれの回答も卵子凍結を実施する上で直面する事であり、担当医等としっかり話し合い、メリット・デメリットを理解して臨むことが大切です。

東京都の助成制度については20ページで紹介しています!

卵子凍結に関するQ&A

Q ピルを服用していても
卵子凍結はできますか？

A 一般的にピルの服用を
中止する必要があります

ピルを服用したまま採卵を行っても卵子の質には影響ないと考えられます。服用中はAMH値が低くなることが報告されており、採卵できる卵子の数が減ってしまう可能性があります。卵子凍結を行う場合、ピルの服用はいったん中止しましょう。

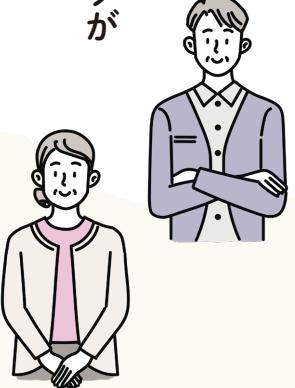
ピルの服用をやめる時期は、卵子凍結の2～3ヶ月前が望ましいといわれています。ただし、個人差があるので、医師に相談して指示に従いましょう。

Q 実際にはどんなリスクが
ありますか？

A OHSSや採卵時のリスクを
ご存知ですか？

排卵誘発剤を使用した際に、卵巣がふくれ上がり、お腹や胸に水がたまるなどの症状が起こることを卵巣過剩刺激症候群(OHSS)と呼びます。重症例はめったにありませんが、症状が悪化すると、脱水症状(喉の渴きなど)、腹部や胸部の水の貯留(腹水・胸水)、血液凝固系の異常による血栓塞栓症、腎機能障害など重篤な症状をもたらすことがあるので、異変を感じたらすぐに医療機関へ相談しましょう。

また、採卵は、腹から卵巣に向けて細長い針を刺して行いますが、鎮静薬や局所麻酔剤を使用しても不快感・疼痛を伴うことがあります。また、卵巣からの出血はわずかですが、ごくまれに輸血を必要とすることもある。卵巣に近い膀胱や腸、血管が傷ついた場合には手術が必要になることもあります。採卵時のリスクを十分理解して臨むことが大切です。



Q

凍結卵子を使用しない場合はどうすればよいですか？

A 医療機関へ廃棄の手続き申請を行ってください

様々な理由で凍結卵子の使用をとりやめ、廃棄する決断をした際には、凍結卵子を保存している医療機関へ廃棄の意思表示が必要です。廃棄に関する手続き方法は医療機関ごとに異なりますので、自身の保存する医

Q

凍結卵子を使用しない場合はどうすればよいですか？

A 医療機関へ廃棄の手続き申請を行ってください

Q 排卵誘発をする際の自己注射について知りたいです！

A 自分自身と相談し
適切な選択を。



Q

自己注射について知りたいです！

A 自分自身と相談し
適切な選択を。

注射によって排卵誘発をする場合、医療機関によっては、病院で注射を打つが、自分で注射を打つ「自己注射」を選択することができます。排卵誘発剤の種類によっては、注射の回数が多くなるものもあります。頻

繫に通院することが困難な方にとっては、注射のためだけの来院をなくすことができる自己注射での排卵誘発は、有効な選択肢の一つといえます。

自分のライフスタイルと相談して、無理のない方法を選びましょう。

Q

性感染症は不妊の原因になりますか？

A 男女ともに放置せず
早期受診&治療を！

性器クラミジア感染症と淋菌感染症は、重症化すると不妊症になる可能性が高まる性感染症です。女性の場合、子宮に続く卵子の通り道である卵管が炎症を起こすと、子宮外妊娠や卵管性不妊を招くことも。また、これらの感染症は男性不妊の原因になるともいわれています。

自覚症状がないうちに進むこともありますので、排尿痛やおりものの変化など、少しでも体に異変を感じたら、パートナーと一緒に受診し早期治療を心がけましょう。

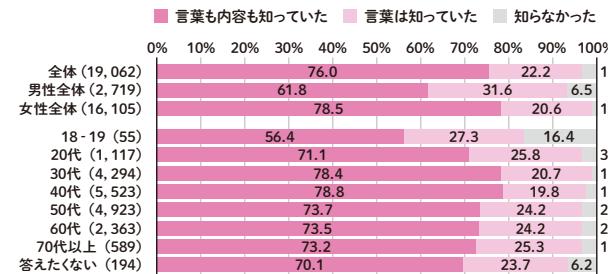
経験者のリアルな声を集めました

卵子凍結について、都民のみなさんに聞いてみました!

東京都では、都内在住の18歳以上の方を対象に、LINEを通じてアンケートを行いました。結果を一部抜粋して紹介いたします。

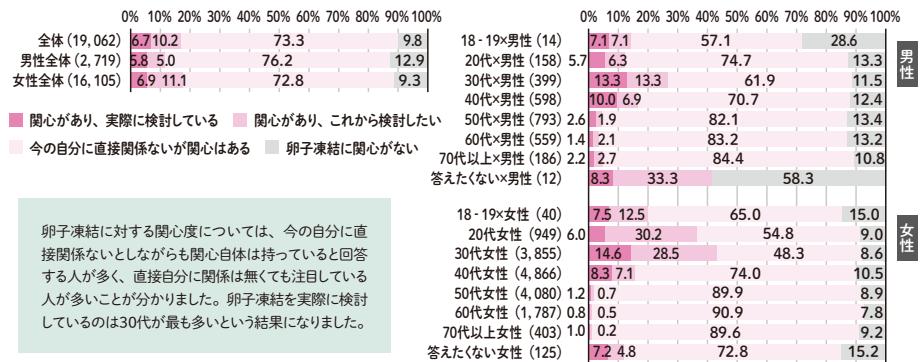
アンケート：LINEアカウントアンケート（都民対象）回答者：男性…2,719名 女性…16,105名 答えたくない…238名

卵子凍結の認知度について



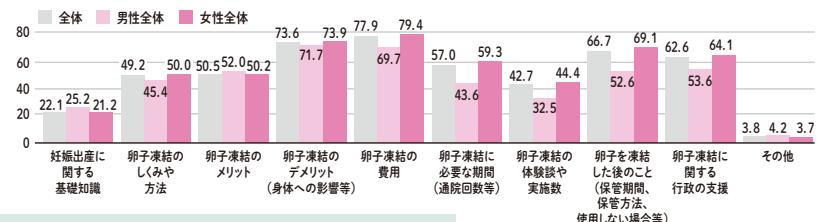
卵子凍結という言葉を知っているのは全体の98%、その中でも内容を認知しているのは女性が78.5%、男性が61.8%と言葉だけではなく内容についても世間への浸透が進んでいる事が伺えます。

卵子凍結に対する関心度について



卵子凍結に対する関心度については、今の自分に直接関係ないとしながらも関心 자체は持っていると回答する人が多く、直接自分に関係は無くても注目している人が多いことが分かりました。卵子凍結を実際に検討しているのは30代が最も多いという結果になりました。

卵子凍結の具体的に興味を持っている項目



全体として、「卵子凍結の費用について」「身体への影響などのデメリットなどに対する関心が高い結果となりました。

卵子凍結の感想掲示板

既に卵子凍結を実施した方を対象に、感想や経験談を聞きました！

自分の将来に希望が持てるようになった

思った以上に費用がかかり、厳しかった

早くパートナーを見つけるようになった

気持ちに余裕が生まれた

休暇の取得等、医療行為を受けるためのスケジュール調整が大変だった

信頼できる病院で後悔が無い選択肢を

今回、お世話になった病院は、医師や看護師さん達の説明やアドバイスが的確で信頼出来ると感じたので、今後も診察や薬の処方などで定期的に通院しています。資金に余裕が出来たら再度凍結を行い、後悔のないように備えたいと意識が変わりました。

女性のライフキャリアの選択肢を増やしたい

今回、卵子凍結を実施したことで、気持ちに余裕が生まれ、自分自身の将来に希望を持つことができました。卵子凍結は、働く女性のキャリアを後押ししたり女性の人生の選択肢を広げたりする良い機会だと思うので、今回の自分の経験を会社の後輩や友人にも伝えていきたいです。

採卵のタイミングの難しさを実感

これまで卵子凍結に興味を持っていたものの、仕事を理由に踏みどまっていましたが、東京都の助成制度を知り、卵子凍結へ踏み切ることができました。仕事と通院の両立に不安を感じてきましたが、思ったよりも身体的・精神的な負担がなく、結果として仕事を休まず採卵することができました。しかし、採卵に一番よい日に会社を休めず採卵日を調整することになったので、働きながら行うには、やむを得ないタイミングがあることも実感しました。今回の助成をきっかけに、卵子凍結への周囲的理解が深まることを願います。

自分自身の将来設計を組み立てるきっかけに

お守り代わりになれば卵子凍結を実施しましたが、医療行為を進めていく過程で、結婚・妊娠等について現実的に考える機会が多くあり、将来的なスケジュールを組み立てる大切さを強く感じました。また、都が開催する対象者向けオンライン説明会や医療機関で受けた説明の中で、卵子凍結よりも受精卵凍結のほうが妊娠の確率が高いということを知り、早くパートナーを見つけるたいと思うようになりました。

卵子凍結に向けて、医療機関を選ぶ3つのポイント

卵子凍結を考えたとき、何を基準に病院を選べばいいか迷ってしまう方は多いのではないかでしょう。

卵子凍結は、

体に負担がかかるだけでなく、時間も費用もかかります。

後悔なく卵子凍結を

行なうためには、理解を深め、自分にとっての必要性や

リスクを見極めるのに加え、

自分に合った病院を

選ぶこともとても大切です。

少しでも不安を軽くし、安心して実施できるように、医療機関を選ぶ上で重要な

3つのポイントを紹介します！

医療機関を選ぶときの3つのポイント

Point 1 通りやすさ

卵子凍結は自分のペースのみでは進められません。卵胞の成長具合、ホルモンの状況などによっては、仕事や他の予定よりも優先させなければならぬこともあります。平均5～6回の通院が必要となりますから、医療機関は自分が通いやすい立地で選びましょう。

卵子凍結は保険適用されないため、金額自己負担となります。費用やプランは医療機関によって異なり、採卵・凍結・保管までがセットプランになつているところもあります。東京都では要件を満たす方を対象に、卵子凍結に係る費用の助成と、凍結卵子を使用した生殖補助医療への助成を行っています。

東京都の助成制度については20ページに詳しく記載していますのでご覧ください。また、卵子凍結にはさまざまに融解した卵子を受精させ、受精卵(胚)を移植します。受精の実績の多さは安心につながります。

Point 2 費用

凍結卵子を用いて妊娠を目指す際には、融解した卵子を受精させ、受精卵(胚)を移植します。受精の実績の多さは安心につながります。

Point 3 実績

卵子凍結経験者にきいた

医療機関選択の決め手

都の登録医療機関において卵子凍結を完了した方に、選んだ理由と気になった点について伺いました！

医療機関を選んだ理由

1位 立地の利便性が高かったから

2位 卵子凍結の実績が豊富だったから

3位 SNSを含むネット上の評価が高かったから

4位 友人・知人・家族にすすめられたから

5位 医療機関が開催するセミナー等に参加して良かったから

まずは、卵子凍結を実施した医療機関を選んだ理由について、複数の選択肢から当てはまるものを3つまで選んでもらったところ、「立地の良さ」が第1位に。自宅や職場から通いやすいクリニックを選んでいる人が多いようです。

また、「実績の多さ」で信頼できる医師やスタッフがいるかどうかを判断している人が多いようです。3位の「ネット上の評判」とは、倍近い差をつけています。そのほか「同じ医療機関でほかの診察や治療を受けたいと考えているから」などの声もあり、費用よりも診療内容や安心感を重視していることがわかりました。

医療機関へこんな意見もありました

1位 費用を安くしてほしい

2位 希望は特はない

3位 医療行為等について事前に丁寧に説明を

4位 料金体系をわかりやすくHP上に示してほしい

5位 成績や実績をHP等に公表しておいてほしい

一方、卵子凍結を実施した医療機関への希望を尋ねたところ、こちらは「費用」についてが1位に。実績重視でクリニックを選んだものの、やはり費用負担が重いと感じる方が多いようです。

また、「卵子凍結の料金体系をわかりやすくHP上に示してほしかった」「これまでの成績や実績をHP等に公表しておいてほしかった」「担当医師や医療スタッフの資格情報等を事前に確認できるようにしてほしかった」などの声も多く、医療機関を選ぶ際には、各医療機関のホームページをよく見て研究していることがわかりました。

卵子凍結への支援

登録医療機関一覧

助成対象要件の一つである「東京都の登録医療機関」とは、卵子凍結や凍結卵子を使用した

生殖補助医療を希望する方が安全・安心に医療行為を受けられるよう、東京都の登録基準を満たしている医療機関です。

あなたのライフスタイルに合った信頼できる医療機関を探してみてください。

所在市町村	名称	所在地	電話番号
千代田区	神田ウインズクリニック	千代田区銀治町2-8-6-6F	03-6206-0065
	杉山産婦人科 丸の内	千代田区丸の内1-6-2 新丸の内セントーピル5F	03-5222-1500
	医療法人社団小畠会 浜田病院	千代田区神田駿河台2-5	03-5280-1166
中央区	あさひレディスクリニック	千代田区神田佐久間町1-13 チヨムチヨム秋葉原10階	03-3251-3588
	さくら・はるなクリニック銀座	中央区銀座1-5-8 Ginza Willow Avenue BLDG 2F・6F	03-5250-6850
	医療法人社団永遠幸 NaturalARTClinic日本橋	中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー8階	03-6262-5757
港区	医療法人オーク会 オーク銀座レディスクリニック	中央区銀座2-6-12 OkuraHouse7F	0120-009-345
	医療法人社団楠原ウインズクリニック	中央区銀座5-6-2 銀座七宝ビル6F	03-6274-6433
	医療法人社団真高会 両角レディスクリニック	中央区銀座2-5-11 88ビルディング3-4階	03-5159-1101
新宿区	銀座こうのとりレディスクリニック	中央区1-3-9 マルイト銀座ビル7階	03-5159-2077
	医療法人RCT会 リプロダクションクリニック東京	港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター3階	03-6228-5351
	京野アートクリニック高輪	港区高輪3-13-3 高輪コート5F	03-6408-4124
文京区	医療法人社団永遠幸 新橋夢クリニック	港区新橋2-5-1 EXCEL新橋3F~7F	03-3593-2121
	東京AMHクリニック銀座	港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル2階	03-3573-4124
	表参道ARTクリニック	港区北青山3-11-7 Aoビル11階	03-6433-5461
世田谷区	医療法人社団神徳会 芝公園かみやまクリニック	港区芝2-9-10 ダイユウビル1階	03-6414-5641
	東京ハートクリニック	港区南青山4-5-19 ジ・アップバージンシーズ・ミナミオヤマ1F	03-5766-3660
	浅田レディース品川クリニック	港区南2-3-13 品川フロントビル3F	03-3472-2203
目黒区	医療法人財團順和会 山王病院	港区赤坂8-10-16	03-6864-0489
	赤坂見附産婦人科	港区元赤坂1-1-5 富士ビル8階	03-3478-6443
	にじさん ARTクリニック品川院	港区南2-15-2 品川イーターシティS&R棟5階	03-6712-3355
渋谷区	にじさん ARTクリニック新宿院	新宿区新宿3-2-1 ヒューリック新宿ビル10階	03-6457-7933
	東京医科大学病院	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111
	加藤レディスクリニック	新宿区西新宿7-20-3 ウエストゲート新宿ビル	03-336-3777
大田区	Shinjuku ART Clinic	新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オーフラワー3階	03-5324-5577
	医療法人社団杉一会 杉山産婦人科新宿	新宿区西新宿1-19-6 山手新宿ビル1階から4階	03-5381-3000
	東京医科歯科大学病院	文京区湯島1-5-45	03-3813-6111
品川区	東京大学医学部附属病院	文京区本郷7-3-1	03-3815-5411
	順天堂医院	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111
	秋葉原 ART Clinic	台東区上野1-1-2 ブライム末広町ビル3F	03-5807-6888
江東区	木場公園クリニック	江東区木場2-17-13 魚井ビル5,6,7階	03-5345-4122
	五の橋レディスクリニック	江東区亀戸6-26-5 日土地亀戸ビル8階	03-5836-2600
	医療法人社団葉葉会 はなおか IVFクリニック品川	品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー1F	03-5759-5112
品川区	京野アートクリニック品川	品川区北品川5-15-4	03-6277-4124
	医療法人社団徳真会 とくおかレディスクリニック	目黒区中根1-3-1 三井住友銀行都立大学駅前ビル6F	03-5701-1722
	東邦大学医療センター大森病院	大田区大森西6-11-1	03-3762-4151
大田区	医療法人社団アート会 ギネマートクリニック	大田区蒲田5-28-18 京急醍醐共同開発ビル3階	03-5480-1940
	藤田医科大学・羽田クリニック	大田区羽田空港1-1-4 羽田イバーショニティZone A	03-5708-7830
	医療法人社団陽樹会 三軒茶屋 ARTレディスクリニック	世田谷区三軒茶屋1-37-2 三茶ビル5階	03-6450-7588
世田谷区	田園都市レディスクリニック二子玉川	世田谷区玉川2-24-24 セゾン玉川5階	03-3707-2455
	医療法人社団ローズレディスクリニック	世田谷区等々力2-3-18	03-3703-0116
	医療法人社団栄賢会 梅ヶ丘産婦人科	世田谷区梅丘1-33-3	03-3429-6036
渋谷区	三軒茶屋ウインズクリニック	世田谷区太子堂1-12-34F	03-5777-7155
	桜十字ウインズクリニック渋谷	渋谷区宇田川町3-7 ヒューリック渋谷公園通りビル4階	03-5728-6626
	医療法人社団鳳凰会 フェニックス アートクリニック	渋谷区千駄ヶ谷3-12-18	03-3405-1101
渋谷区	グレイス杉山クリニック SHIBUYA	渋谷区渋谷1-23-16 cocotiSHIBUYA5階	03-6427-5670
	医療法人社団暁慶会 はらめディカルクリニック	渋谷区千駄ヶ谷5-8-10 巖ビル2階	03-3356-4211
	torch clinic	渋谷区恵比寿4-3-14 恵比寿SSビル8階	03-6447-7910
杉並区	ファティティクリニック東京	渋谷区東3-13-11F	03-3406-6868
	アートラボクリニック渋谷	渋谷区宇田川町33-6 渋谷フラッグ8階	03-3780-8080
	明大前アートクリニック	杉並区和泉2-7-1 甘酒屋ビル2階	03-3325-1155
豊島区	池袋えざきレディスクリニック	豊島区池袋2-13-1 池袋岸野ビル4階	03-5911-0034
	愛慶クリニック	豊島区東池袋1-12-8 富士喜ビル4階	03-3987-3090
	医療法人社団愛慈会 松本レディースIVFクリニック	豊島区東池袋1-13-6 ロクマルゲートIKEBUKURO 5・6F	03-5958-5633
荒川区	日暮里レディスクリニック	荒川区西日暮里2-20-1 ステーションポートタワー5F	03-5615-1181
	足立区 北千住 ARTクリニック	足立区千住1-18-9 タワーフロント北千住4F	03-6806-1808
	武蔵野市 花みずきウインズクリニック吉祥寺	武蔵野市吉祥寺本町1-23-1 KS23ビル6,7階	0422-27-2965
調布市	うすだレディスクリニック	武蔵野市吉祥寺本町2-4-14-3F	0422-28-0363
	ウインズクリニック神野	調布市国領町3-11-7	042-480-3105
	貝原レディスクリニック	調布市布田1-29-2 ピルディング川口4階	042-426-1103
国分寺市	国分寺ウーマンズクリニック	国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル5階	042-325-4124

※一覧は2024年4月1日時点の登録状況です。最新の一覧は東京都福祉局ホームページよりご確認ください。
<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/shussan/ranshitouketsu/touketsu/gaiyou.html>



東京都の助成制度の紹介

卵子凍結を考えている都民の方へ、
東京都の行っている助成制度について紹介します！

卵子凍結に係る費用の助成

加齢等による妊娠機能の低下を懸念する場合に行う
卵子凍結に係る費用を助成します。

東京都に住む18歳から39歳までの女性 (採卵を実施した時点における年齢)

※対象要件等の詳細は東京都福祉局HPでご確認ください。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/shussan/ranshitouketsu/touketsu/gaiyou.html>



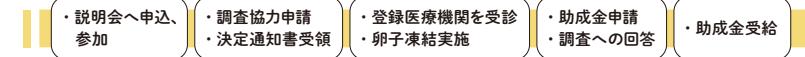
下記に当てはまる方は本事業の対象外となります。

- すでに不妊症の診断を受けており、不妊治療を目的とした採卵・卵子凍結を行う方
- 東京都若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業 (小児・AYA世代のがん患者等の妊娠性温存療法研究促進事業) の対象となる方

卵子凍結を実施した年度 上限20万円

次年度以降、保管更新時の調査に回答した際に、1年ごと一律2万円 (令和10年度まで実施)

採卵準備のための投薬・採卵・卵子凍結



凍結卵子を使用した生殖補助医療への助成

加齢等の影響を考慮して作成した凍結卵子を使用した
生殖補助医療に係る費用を助成します。

妻の年齢が43歳未満の夫婦 (事実婚含む) で

凍結卵子を使用した生殖補助医療を受ける方

※対象要件等の詳細は東京都福祉局HPでご確認ください。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/shussan/ranshitouketsu/shiyou/index.html>



(1) 凍結卵子を融解し、受精を行った場合 : 1回につき上限25万円

(2) 「以前に凍結卵子を融解し作成した凍結胚」を融解して胚移植した場合 : 1回につき上限10万円

卵子融解・授精・胚培養・胚凍結・胚移植・妊娠確認